

# 上越教育大学概要

昭和56年度



## 目 次

創設の趣旨・目的	2
沿 革	3
今後の計画等	4
組織図	5
役職員等	6
部及び講座	7
附属図書館	7
附属実技教育研究指導センター	8
附属学校	8
教職員数	8
学生の定員及び現員	9
入学志願者数及び入学者数	9
県別入学状況	9
福利厚生施設	10
校地及び校舎	11
建物配置図及び所在地	12
位 置 図	16



春日山城趾より望む

## 創設の趣旨・目的

上越教育大学は、新しい理念と構想のもとに、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進するための国立の大学である。

今日、教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた、広い一般的教養教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

本学は、このような要請に基づき、初等教育教員を養成する学部と、主として、初等・中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院をもつ大学として設置された。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたるすぐれた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

また、学部の教育は、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これにたずさわる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成を重視するとともに、教育課程の改善、教育実習の拡大をはかるなど、教育の内容と方法に新しい工夫を加えている。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の実践に係わる諸科学の研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしている。

## 沿革

- 昭和51年8月1日 文部省内に「教員大学院大学創設準備室」設置
- 昭和53年6月17日 第84国会で「国立学校設置法及び国立養護教諭養成所設置法の一部を改正する法律」が成立し、本学の新設公布
- 昭和53年10月1日 上越教育大学が開学し、事務局を新潟大学教育学部高田分校内に設置
- 昭和56年1月25日 第1回の学部推薦入学者選抜試験実施
- 昭和56年3月4～6日 第1回の学部入学者選抜試験実施
- 昭和56年3月16日 第1回の学部合格者発表
- 昭和56年3月25日 学生宿舎の一部竣工（55年7月12日着工）
- 昭和56年3月25日 教育・言語・社会棟竣工（55年2月17日着工）
- 昭和56年4月1日 「国立学校の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令」及び「国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令」に伴い、附属実技教育研究指導センター、附属小学校、附属中学校の設置（附属学校は新潟大学教育学部高田小、中学校の移管）
- 昭和56年4月16日 第1回学部入学式挙行
- 昭和56年4月20日 新潟大学教育学部高田分校の校舎等の一部を使用し、授業開始
- 昭和56年5月25日 共通講義棟竣工（55年9月14日着工）
- 昭和56年5月25日 学生実験棟、大学会館、設備機械室竣工（55年9月1日着工）
- 昭和56年6月8日 山屋敷地区の第一期工事の校舎等の完成に伴い、事務局、研究室、学生宿舎等の移転（56年6月14日まで）

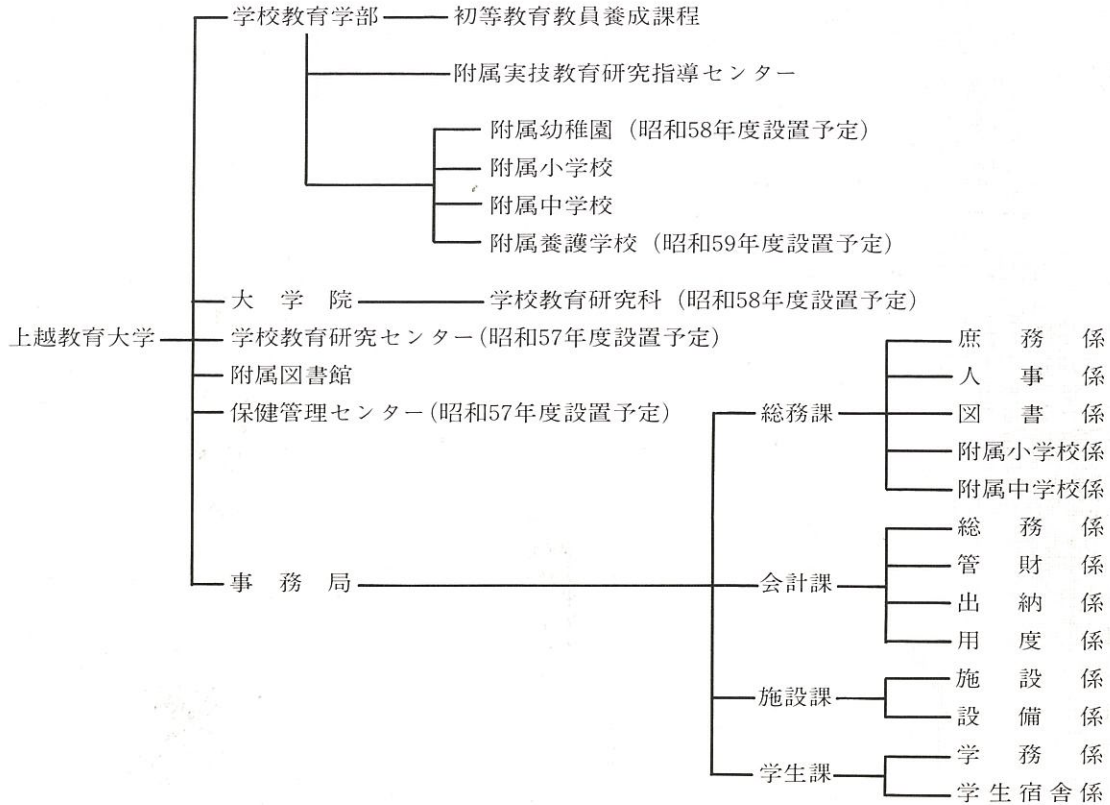
## 今後の計画等

大学院学校教育研究科については昭和58年4月から、学生を受入れる予定である。  
 本学の課程・専攻等の設置、学生受入れ等の予定は次の表のとおりである。

( ) は入学定員を示す。

区 分		昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	
学校教育学部初等教育教員養成課程		(200)					
大学院 (学校教育研究科)	学校教育専攻	教育基礎コース			(15)		
		教育経営コース			(15)		
		教育方法コース			(10)		
		生徒指導コース			(10)		
	幼児教育専攻					(15)	
	障害児教育専攻					(25)	
	教 科 領 域 教育専攻	言語系コース				(40)	
		社会系コース				(30)	
		自然系コース				(50)	
		芸術系コース			(50)		
生活・健康系コース				(40)			

# 組 織 図



# 役職員等

学	長	辰野千壽
副学	長	須田八郎
評議員		
学	長	辰野千壽
副学	長	須田八郎
附属図書館	長	菅野三郎
第1部		前田幹
第2部		佐藤親雄
第3部		川本崇雄
第4部		小松件進
第5部		萩原茂男
第6部		小池藤雄
第7部		上野和年
附属実技教育 研究指導センター	長	供田武嘉津
附属学校		吉本市

## 部局長等

附属図書館	長	菅野三郎
附属実技教育研究 指導センター	長	供田武嘉津
附属小学校	長	小池藤雄
副校	長	下村省一
附属中学校	長	吉本市
副校	長	浅井一真
事務局		
事務局	長	田中亀夫
総務課	長	矢部忠幸
会計課	長	村田宏
施設課	長	上村保人
学生課	長	岩元忠幸



## 部及び講座

部 名	講 座 名 等
学 校 教 育 研 究 部 (第1部)	教育基礎、教育経営、教育方法、生徒指導
幼 児 ・ 障 害 児 教 育 研 究 部 (第2部)	幼児教育
言 語 系 教 育 研 究 部 (第3部)	言語系教育、実技教育研究指導センターの外国語教育の分野
社 会 系 教 育 研 究 部 (第4部)	社会系教育
自 然 系 教 育 研 究 部 (第5部)	自然系教育
芸 術 系 教 育 研 究 部 (第6部)	芸術系教育、実技教育研究指導センターの音楽教育及び美術教育の分野
生 活 ・ 健 康 系 教 育 研 究 部 (第7部)	生活・健康系教育、実技教育研究指導等センターの体育教育の分野

## 附属図書館

蔵書数

(昭和56年7月1日現在)

区 分	一 般 教 育 等 (洋・和)						初 等 教 育 教 員 養 成 課 程	合 計	学 種 類 数 誌
	人 文	社 会	自 然	外 国 語	保 健 ・ 体 育	小 計			
蔵書	2,899	1,832	936	764	461	6,892	5,431	12,323	275

なお、附属図書館の建物は、昭和57年度に完成の予定であり、当分の間、人文棟の講義室を暫定使用している。

## 附属実技教育研究指導センター

学部における教育や研究と密接な関連を保ち、主として学生の自学自習により、教育に関する実際の、技術的能力、実技指導能力などの涵養を図ることを目的として学部に附属した教育施設である。

## 附属学校

学校教育に関する実証的な研究と学生の教育実習を行うため、附属小学校及び附属中学校（昭和56年4月新潟大学教育学部附属高田小・中学校を移管）を設置している。

また、将来は、幼稚園、養護学校を設置する予定である。

## 教職員数

(昭和56年7月1日現在)

区 分	学長	副学長	教授	助教授	教頭	教諭	養護 教諭	計	事務官	技官	その 他の 職員	計	合計
定 員	1	2	26	6	2	30	2	69	16	6	21	43	112
学 長	1							1					1
副 学 長		1						1					1
事 務 局									16	6	21	43	43
学 校 教 育 学 部			19	8				27					27
附 属 小 学 校					1	15	1	17					17
附 属 中 学 校					1	15	1	17					17
附 属 図 書 館													
附 属 実 技 教 育 研 究 指 導 セ ン タ ー			3					3					3
現 員 計	1	1	22	8	2	30	2	66	16	6	21	43	109

## 学生の定員及び現員

(昭和56年5月1日現在)

学 部	課 程	入学定員	総 定 員 (完成時)	現 員								計		合計
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		男	女	
				男	女	男	女	男	女	男	女			
学校教育学部	初等教育教員養成課程	200	800	83	125							83	125	208

## 入学志願者数及び入学者数

年 度	入 学 定 員	入学志願者数			入 学 者 数		
		男	女	計	男	女	計
昭和56年度	200	813	602	1,415	83	125	208

## 県別入学状況

年 度	新 潟	長 野	石 川	富 山	山 形	群 馬	秋 田	徳 島	その他	合 計
昭和56年度	(37) 63	(17) 31	(10) 14	(12) 13	(7) 10	(6) 8	(7) 7	(1) 5	(28) 57	(125) 208

( )は、女子で内数

## 福利厚生施設

### 1 大会館

室名	階別	用途等
学生食堂	1	食事(300席)
売店	1	書籍・日用品の購買等
特別食堂	2	食事(27席)
喫茶室	2	喫茶
理髪・美容室	2	理髪・美容
集会室(3室)	2	会議・研究会等
和室(2室)	2	会議、邦楽、茶道、華道等の練習(12帖・8帖)

### 2 学生宿舎

区分	建物	延面積	収容人員
男子用学生宿舎	R C 5		80人
女子用学生宿舎	R C 5		100
計		3,630	180

学生宿舎



大会館の学生食堂



## 校地及び校舎

### 1 校地

区 分	面 積
山屋敷地区 (学校教育学部) 上越市山屋敷町1番地	356,388 m <sup>2</sup>
西城地区 (附属小学校) 上越市西城町1丁目7番2号	44,698
本城地区 (附属中学校) 上越市本城町6番2号	75,991
その他宿舎用地	16,322
計	493,399

### 2 校舎

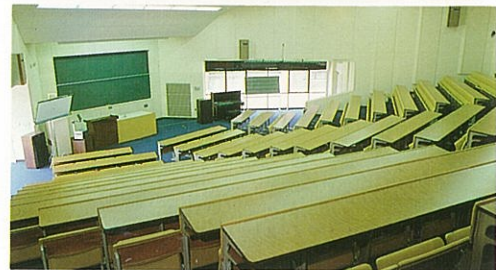
名 称	構 造	階数	延面積	建設年次
人 文 棟	S R C	8	8,800	54~55
講 義 棟	R C	3	2,200	55
実 験 棟	R C	2	1,200	55
体 育 館	R	1	1,400	56
小 体 育 館	S R C	2	1,200	56
体 育 棟	R C	4	1,600	56
音 楽 棟	R C	5	2,600	55~56
美 術 棟	R C	4	3,600	56
大 学 会 館	R C	2	2,120	55
中央機械室	R C	2	690	55
学 生 宿 舎	R C	5	3,630	55
			3,240	56



講義棟及び実験棟



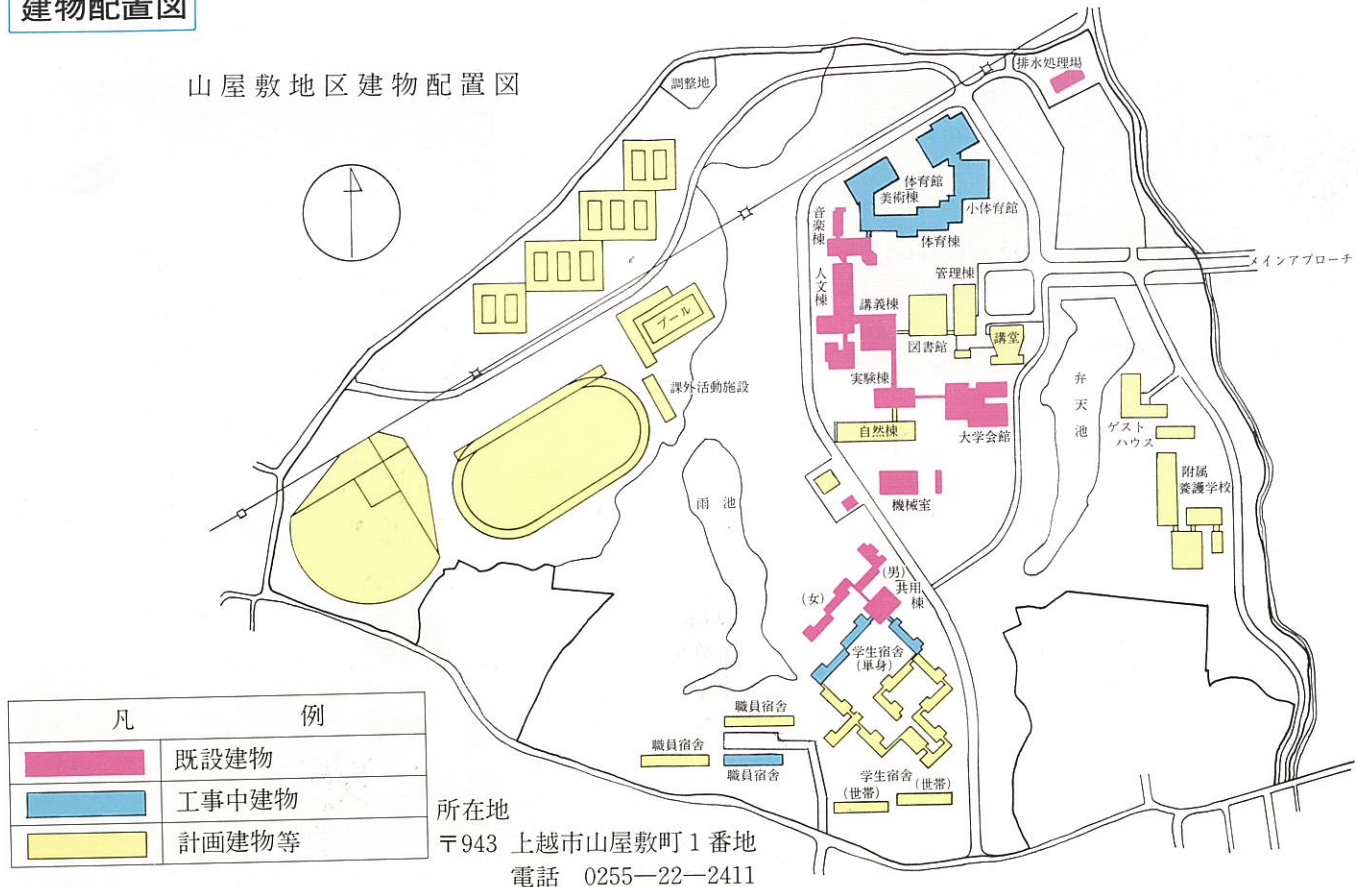
調理学実習室



特別講義室

# 建物配置図

## 山屋敷地区建物配置図

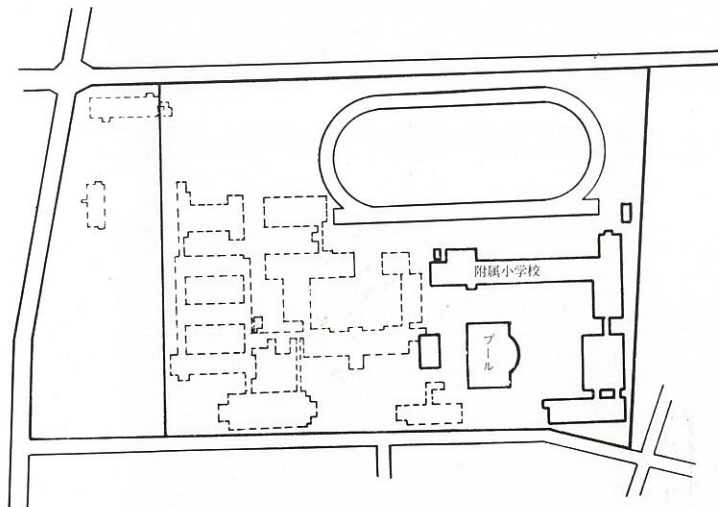




正面より全景

# 西城地区建物配置図

(附属小学校)



所在地

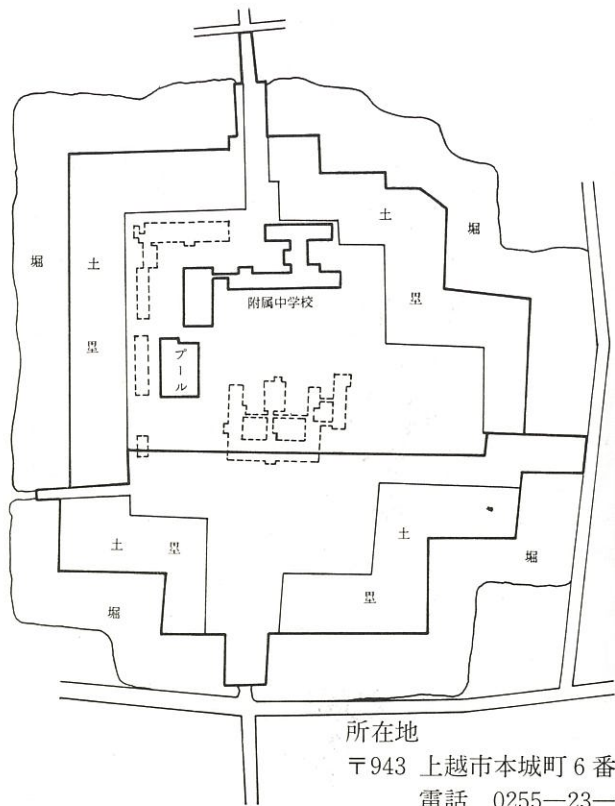
〒943 上越市西城町1丁目7番1号

電話 0255-23-3610



# 本城地区建物配置図

(附属中学校)

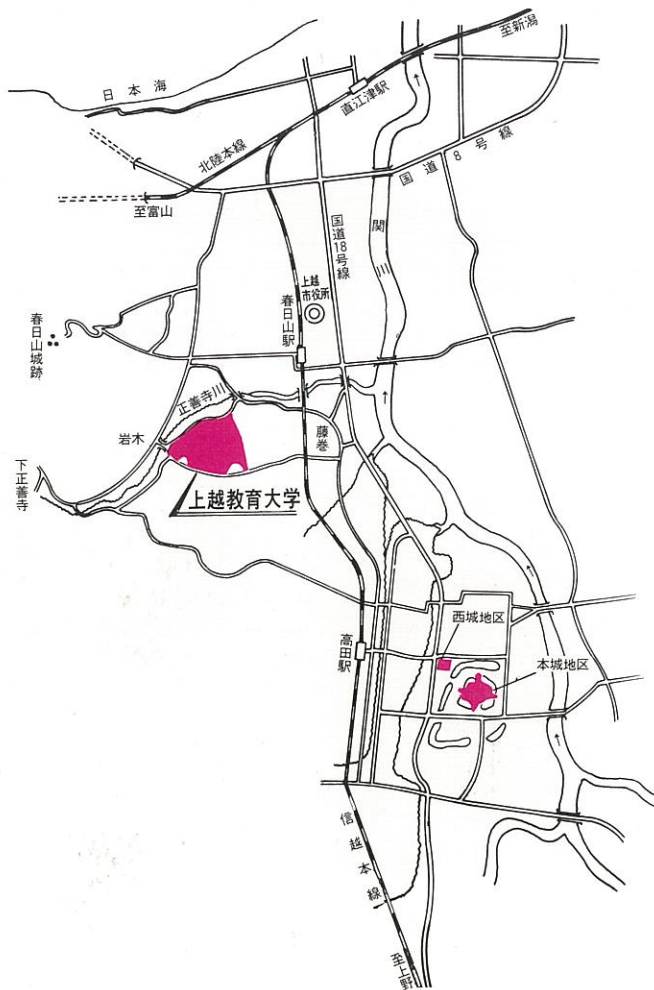


所在地

〒943 上越市本城町6番2号

電話 0255-23-5313

# 位置図



昭和56年 8 月発行

編集発行 **上越教育大学総務課**

上越市山屋敷町 1 番地

電話 0255—22—2411



---

**JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION**

---